

みずほCustomer Desk Report 2025/03/26号 (As of 2025/03/25)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	150.96
TKY 9:00AM	150.80	1.0801	162.97	1.2923	0.6286
SYD-NY High	150.95	1.0830	163.00	1.2966	0.6325
SYD-NY Low	149.55	1.0777	161.65	1.2904	0.6279
NY 5:00 PM	149.92	1.0793	161.78	1.2944	0.6304
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	42,587.50	4.18	日本2年債	0.8700%	0.0100%
NASDAQ	18,271.86	83.27	日本10年債	1.5700%	0.0300%
S&P	5,776.65	9.08	米国2年債	4.0164%	▲0.0235%
日経平均	37,780.54	172.05	米国5年債	4.0692%	▲0.0282%
TOPIX	2,797.52	6.64	米国10年債	4.3162%	▲0.0213%
シゴ日経先物	37,905.00	70.00	独10年債	2.7930%	0.0230%
ロンドンFT	8,663.80	25.79	英10年債	4.7555%	0.0380%
DAX	23,109.79	257.13	豪10年債	4.4340%	0.0210%
ハンセン指数	23,344.25	▲561.31	USDJPY 1M Vol	9.37%	▲0.05%
上海総合	3,369.98	▲0.05	USDJPY 3M Vol	9.79%	▲0.04%
NY金	3,025.90	10.30	USDJPY 6M Vol	9.83%	▲0.05%
WTI	69.00	▲0.11	USDJPY 1M 25RR	▲1.29%	Yen Call Over
CRB指数	306.51	0.13	EURJPY 3M Vol	10.08%	▲0.07%
ドルインデックス	104.18	▲0.08	EURJPY 6M Vol	10.08%	▲0.03%

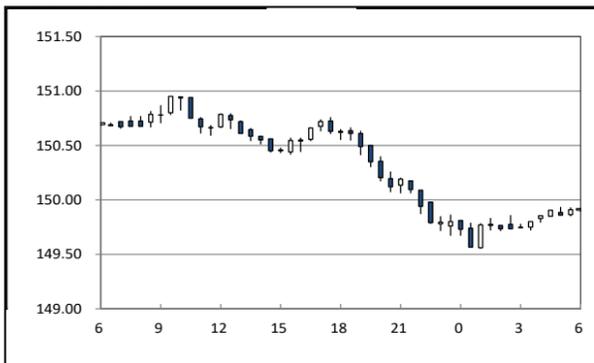
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
3月25日	18:00	独 IFO企業景況感指数/現況/期待指数	3月 86.7/85.7/87.7	86.7/85.5/87.3
	20:52	米 建設許可件数・確報	2月 1459k	1455k
	20:52	米 住宅建設許可(前月比)・確報	2月 -1.0%	-0.1%
	23:00	米 新築住宅販売件数	2月 676k	680k
	23:00	米 コンファレンスホート消費者信頼感	3月 92.9	94

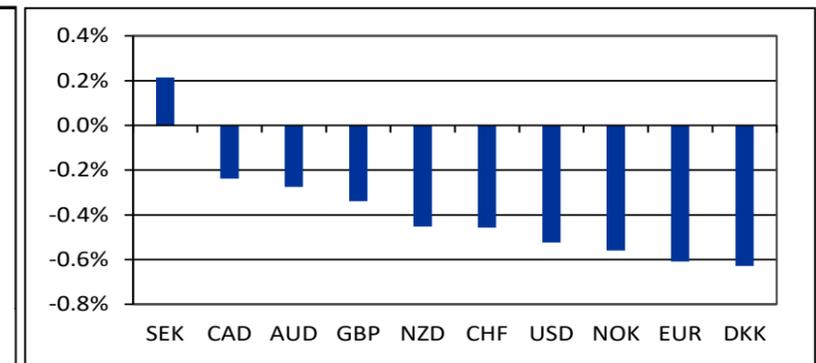
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
3月26日	09:30	豪 CPI(前年比)	2月 2.5%	2.5%
	09:30	豪 CPIトリム平均値(前年比)	2月 -	2.8%
	14:00	日 景気一致指数・確報	1月 -	116.2
	16:00	英 CPI(前月比/前年比)	2月 0.5%/3%	-0.1%/3.0%
	16:00	英 CPIコア(前年比)	2月 3.6%	3.7%
	21:30	米 耐久財受注(前月比)・速報	2月 -1.0%	3.2%
	21:30	米 耐久財受注(除輸送用機器)・速報	2月 0.2%	0.0%
	23:00	米 カシユカリ・ミネアポリス連銀総裁 講演	-	-
3月27日	01:30	欧 クノット・オランダ中銀総裁 講演	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	149.00-150.50	1.0750-1.0850	161.00-162.50

【マーケット・インプレッション】

昨日の海外市場におけるドル/円相場は反落した。欧州時間に入ると、ドル/円は151円目前から段階的に下落を開始。151円を突破できなかったことからの反動もあり、結局150円割れまで約1円ほど下値を拡大した。NY時間には米経済指標の軟調な結果も手伝い149円台後半に付近まで更に下落した。その後は、同水準で下げ渋りNY後半にかけて149円台後半にてじりじりと値を戻した。尚、この日発表された米2月新築住宅販売件数、米3月消費者信頼感指数、米3月リッチモンド連銀製造業指数は、軒並み市場予想を下回る結果となった。本日のドル/円相場は上値重い相場推移を予想。昨日の東京市場ではドル/円が一時151円近辺まで上昇するなど堅調な推移が見られたが、海外市場では特に米経済指標の軟調な結果が足枷となりドル/円は上値重い展開となった。昨夜の米経済指標の結果に見られるように米経済の減速が懸念されておりドル/円が151円を突破して上昇を継続するのは難しいのではないかと見られる。また、本日は海外時間に米2月耐久財受注の発表が予定されており、日中は経済指標の結果を待つ形で150円近辺での値動きが継続しそうだ。

東京	東京時間のドル円は150.80レベルでオープン。仲値にかけて150.95まで上昇も、買い一巡後は軟調に推移。午後に日銀より公表のあった2月消費者物価コア指標試算値において、刈込平均値(前年比)が+2.2%と2か月連続で2%を上回ったことなどから円買いが優勢に。150.42まで下落した後、150.55レベルまで小幅に値を戻し海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン時間のドル円は上値の重い展開。昨日のトランプ大統領の発言を受け、関税の範囲、水準が想定より狭く、低い水準にとどまるのではないかと期待感が醸成されるも、依然として高い不透明感に米金利は反落、ドル円は上値重く推移する展開。150.55レベルで始まったのち、150円の大台を再び割れて149.87の安値を付けた後、150.18レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	NY市場のドル円は、午前中に発表された米3月コンファレンスホート消費者信頼感指数が予想を下回った事が嫌気され、米金利の低下に伴い、149.55まで下落。午後に発表された米2年債の入札は堅調な結果となるも、一段安の要因とはならず。その後米株が反発する展開を横目に149.90付近まで反発し、149.92レベルでクローズ。一方、NY市場のユーロドルは、米金利の低下につられた独金利の低下が重しとなり、1.08台を割り込む軟調な推移。午後は1.0810付近まで反発する場面もあったが、終盤にかけて再度失速し、1.0793レベルでクローズ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。